

年間指導計画・評価計画

第4学年 国語

月	単元名	学習内容
1学期	「力を合わせてばらばらに」 「春のうた」 「なりきって書こう つづけてみよう」 「白いぼうし」 「図書館の達人になろう」 「漢字辞典を使おう」 「春の楽しみ」	自分が考えた特徴を一人ずつ話したり、友達の話の聞いたりして予想したりする。 言葉からどんな様子や気持ちかを想像し、音読のしかたを工夫して、音読する。 好きなものなどになりきって想像したことを書く。 場面と場面をつなげて読み、考えたことを話す。 本の探し方を考えながら学校図書館で本を探す。 漢字辞典の使い方を理解し使う。 春の行事の様子を伝える手紙を書く。
	「聞き取りメモのくふう」 「カンジーはかせの都道府県1」 「漢字の広場①」 「アップとルーズで伝える」	聞きたいことを聞き、その内容を伝えるためにメモを取る。 都道府県名を使った文を作る。 絵を見て想像したことを基に文を書く。 筆者の考えに対してもった自分の考えを伝え合う。
	「お礼の気持ちを伝えよう」 「漢字の広場②」 「一つの花」 「つなぎ言葉のはたらきを知ろう」 「短歌・俳句を楽しもう」（1） 「要約するとき」	相手や目的を意識して、お礼の手紙を書く。 絵を見て想像したことを基に文を書く。 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考える。 接続する語句の役割について理解する。 短歌や俳句を音読したり暗唱したりして親しむ。 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する。
	「新聞をつくらう」 「カンジーはかせの都道府県2」 「夏の楽しみ」 「神様の階段」	相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、学級新聞を作る。 都道府県名を使った文を作る。 夏の行事などを俳句にする。 読んで欲しい1冊をポップや帯で紹介する。
	「忘れもの」「ぼくは川」 「あなたなら、どう言う」 「パンフレットを読もう」 「どう直したらいいかな」 「いろいろな意味をもつ言葉」 「ローマ字を使いこなそう」 「漢字の広場③」	詩から受けた印象を伝え合う。 グループで役割を決めて、それぞれの立場で話し合いをする。 作られた目的や対象を踏まえて、必要な情報を中心に読む。 主語と述語との関係、修飾語と被修飾語との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解する。 複数の意味をもつ言葉について、文脈から意味を判断する。 日常に使われている簡単な単語について、ローマ字で書く。 絵を見て想像したことを基に文を書く。
	「こんぎつね」 「漢字を正しく使おう」 「秋の楽しみ」 「クラスみんなで決めるには」	物語を読み、人物や物語に対する考えを深め、話し合う。 漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方を理解して、文や文章の中で使う。 季節を感じる行事について、様々な形態の文章で知らせる。 役割を意識しながらクラス全体で話し合って考えをまとめる。
	「工芸のみりょくを伝えよう」 「慣用句」 「短歌・俳句を楽しもう」（2） 「漢字の広場④」	調べて分かったことなどをまとめて書く。 慣用句の意味を調べて文を作る。 短歌や俳句を音読したり暗唱したりして親しむ。 絵を見て想像したことを基に文を書く。
	「友達のかべ新聞」 「もしものときにそなえよう」 「冬の楽しみ」	登場人物の気持ちの変化や性格、情景について場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、おもしろいと思ったところを伝え合う。 文章の感想を伝え合い、自分の考えが伝わっているかどうかを確認する。 季節を感じる行事について、様々な形態の文章で知らせる。
	「自分だけの詩集を作ろう」 「熟語の意味」 「漢字の広場⑤」 「風船でうちゅうへ」	詩や詩集を読み、自分だけの詩集を作る。 二字の熟語の組み合わせについて知る。 絵を見て想像したことを基に文を書く。 興味をもったことを中心に要約し、文章に対する感じ方の違いやよさを考える。
	「つながりに気をつけよう」 「心が動いたことを言葉に」 「調べて話そう、生活調査隊」 「スレイクのほとりで」 「漢字の広場⑥」 「四年生をふりかえって」	語のつながりや、文や段落どうしの関係をを整え、正確に伝える。 冬の行事の楽しさを伝えるかるたを作る。 調べたことを、資料を見せながら、聞く人に分かりやすく話す。 物語を読んで考えたことを伝え合う。 絵を見て想像したことを基に文を書く。 1年間の国語科での学びを振り返り、書く。

評価計画		
評価の観点	評価基準	評価方法
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解している。	・提出物（ノート・プリント・課題等） ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
思考・判断・表現	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめたりしている。	・提出物（ノート・プリント・課題等） ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・作品・作文
主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・提出物（ノート・プリント・課題等）

年間指導計画・評価計画

第4学年 算数

月	単元名	学習内容
1学期	「大きい数のしくみ」	・億や兆の単位について知り、十進位取り記数法や4桁区切りによる命数法（万進法）に基づき大きな数の読み方や計算の仕方を考える。
	「そろばん」	・そろばんによる数の表し方について知り、そろばんを用いて簡単な加法及び減法の計算をする。
	「ぼうグラフと表」	・身の回りにある事象について、目的に応じて観点を決め、資料を分類整理して、表や棒グラフを用いて分かりやすく表したり、読み取ったりする。
	「折れ線グラフと表」	・折れ線グラフの特徴や用い方、分類整理の方法について理解し、それらを活用して資料を折れ線グラフに表したり読み取ったりする。
	「わり算の筆算（1）－わる数が1けた」	・2～3位数を1位数でわる除法計算について理解し、その計算が確実にできるようにするとともに、除法に関して成り立つ性質を活用して計算を工夫したり計算の確かめをしったりする。
	「わり算の筆算（1）－わる数が1けた」	・三角形についての観察や構成などの活動を通して、三角形を構成する要素に着目し、二等辺三角形や正三角形、角について調べる。
	「三角形と角」	・角の大きさについて単位と測定の意味について理解し、角の大きさを測定したり角をかいたりする。
2学期	「角の大きさ」	
	「小数のしくみ」	・小数の意味や表し方について理解し、加法及び減法の計算をすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して小数の仕組みや計算の仕方を考える
	「小数のしくみ」	
	「わり算の筆算(2)－わる数が2けた」	・2～3位数を2位数でわる除法計算について理解し、その計算が確実にできるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して計算を工夫したり計算の確かめをしったりする。
	「倍の見方」「がい数の使い方と表し方」	・ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることについて理解し、簡単な場合について割合を求める。
	「計算のきまり」	・計算の順序に関するきまりを理解し、四則に関して成り立つ性質について理解を深めることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して数量の関係を表す式について考える。
	「計算のきまり」	・直線の位置関係や四角形の構成について理解し、図形についての見方や感覚を豊かにできるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して図形の構成の仕方を考える。
3学期	「垂直、平行と四角形」	
	「分数」	・分数とその計算について理解し、同分母分数の加法及び減法の計算ができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して数を構成する単位について考える。
	「変わり方調べ」	・伴って変わる二つの数量について、表を用いて調べたり式に表したりすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して変化や対応の特徴について考える。
	「面積のはかり方と表し方」	・平面図形の面積に関する単位について理解し正方形や長方形の面積を計算して求めることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して面積の求め方や面積の単位と既習の単位との関係について考える。
	「面積のはかり方と表し方」	・乗数や除数が整数の場合の小数の乗除計算の仕方について理解し、筆算を用いて計算することができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して筆算や計算の工夫を考える。
	「小数のかけ算とわり算」	
	「直方体と立方体」	・立体図形や直方体における直線や平面の関係について理解し説明することができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して、図形の性質について考える。
	「復習」	・問題に取り組み、既習内容の理解を確認する。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けている。	・提出物(ノート・プリント・課題等) ・テスト ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
思考・判断・表現	ものの数、形、身の回りにあるものの特徴を捉え、数え方や計算の仕方、形の構成や量の大きさの比べ方を考えたり、判断したり、表現したりしている。	・提出物(ノート・プリント・課題等) ・テスト ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
主体的に学習に取り組む態度	数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考え、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・提出物(ノート・プリント・課題等)

年間指導計画・評価計画

第4学年 理科

月	単元名	学習内容
1学期	「季節と植物①」（春の始まり） 「天気と気温」	・春の始まりの植物の様子を観察して、気付いたことを話し合う。 ・天気と一日の気温の変化の関係を調べる。
	「季節と植物②」（春） 「電池のはたらき」	・気温と動植物の様子の変化を調べる。 ・乾電池の向きと電流の向きを関係付けて調べる。
	「とじこめた空気や水」	・加えた力の大きさと、空気の体積や押し返す力、水の体積を関係付けて調べる。
	「季節と植物③」（夏） 「星や月①」（星の明るさや色）	・気温と動植物の様子の変化を調べる。 ・星の明るさや色の違いを比べながら調べる。
2学期	「季節と植物④」（夏の終わり）	・気温と動植物の様子の変化を調べる。
	「雨水のゆくえ」 「星や月②」（月と星の位置と変化）	・土の粒の大きさと水のしみ込み方との関係を調べる。 ・半月の位置の変化と満月の位置の変化と時間の関係を調べる。
	「わたしたちの体と運動」 「季節と植物⑤」（秋）	・骨や筋肉のつくりと腕の様子を関係付けて調べる。 ・気温と動植物の様子の変化を調べる。
	「ものの温度と体積」 「星や月③」（冬の星）	・空気の温度の変化と体積、水の温度の変化と体積、金属の温度と変化と体積の変化を関係付けて調べる。 ・冬の夜空を眺める。
3学期	「季節と植物⑥」（冬） 「もののあたため方」	・気温と動植物の様子の変化を調べる。 ・金属の熱したところと温まり方を関係付けて調べる。 ・水の温まり方や空気の温まり方と金属の温まり方と比べながら調べる。
	「すがたを変える水」	・温度の変化と水の様子を関係付けて調べる。
	「季節と植物⑦」（春のおとずれ）	・気温と動植物の様子の変化を調べる。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	自然現象についての基礎を理解し、適切な方法で観察や実験を行うことができる。	・提出物（ノート・プリント・課題等） ・テスト ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
思考・判断・表現	自然現象について問題を見だし、その要因を考えることができる。	・提出物（ノート・プリント・課題等） ・テスト ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
主体的に学習に取り組む態度	活動内容を振り返り、見いだした課題に意欲的に取り組もうとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・提出物（ノート・プリント・課題等）

年間指導計画・評価計画

第4学年 社会

月	単元名	学習内容
4月	「都道府県を調べよう～東京都の様子～」	都内における自分たちの区の地理的位置，都全体の地形や主な産業の概要，交通網の様子，主な都市の位置などを理解し，地図や立体地図を活用して調べ，白地図にまとめる。
5月	「都道府県を調べよう～東京都の様子～」	都内における自分たちの区の地理的位置，都全体の地形や主な産業の概要，交通網の様子，主な都市の位置などを理解し，地図や立体地図を活用して調べ，白地図にまとめる。
6月	「ごみの処理と利用」	ごみの処理と自分たちの生活や産業との関わり，ごみの処理に関わる対策や事業は計画的，協力的に進められていることを理解し，ごみの処理と自分たちの生活や産業との関わりや，ごみの処理に関わる対策や事業を見学，調査してノートや作品にまとめる。
7月	「水はどこから」	飲料水の確保と自分たちの生活や産業との関わり，飲料水の確保に関わる対策や事業が計画的，協力的に進められていることを理解し，飲料水の確保と自分たちの生活や産業との関わり，飲料水の確保に関わる対策や事業が計画的，協力的に進められている様子を見学したり，調査したりして調べ，調べた過程や結果をノートや作品にまとめる。
9月	「水害からくらしを守る」	東京都や杉並区の関係機関や人々は，自然災害に対し，様々な協力をして対処してきたことや，今後想定される災害に対し，様々な備えをしていることを理解する。
10月	「受け継がれる祭り～武蔵府中くらやみ祭り～」	都道府県内の古い建造物や祭りなどの年中行事について，見学活動やインタビューなどを通して調べ，建造物の保存や年中行事の継承に関わる人々の心情等に迫るとともに，課題があることを理解する。
11月	「受け継がれる祭り～武蔵府中くらやみ祭り～」	都道府県内の古い建造物や祭りなどの年中行事について，見学活動やインタビューなどを通して調べ，建造物の保存や年中行事の継承に関わる人々の心情等に迫るとともに，課題があることを理解する。
12月	「届けよう命の水～玉川兄弟と玉川上水の開発～」	先人の働きや苦心と地域社会のよりよい発展について考え，調べたことをグループなどで表現する。
1月	「染め物のさかんな新宿」	昔から受け継いできた技術を生かして，作品をつくっていることを理解している。
2月	「世界とつながる大田区」	人々の生活や産業と国内の他地域や外国との関わりを理解し，地図を活用したり資料を収集・活用したりして調べ，調べた過程や結果をまとめる。
3月	「ゆたかな自然を守り生かす小笠原村」「江戸の文化を伝える浅草」	人々の生活や産業と国内の他地域や外国との関わりを理解し，地図を活用したり資料を収集・活用したりして調べ，調べた過程や結果をまとめる。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	社会的事象の基礎を理解したり，資料を適切に活用して調べたことをまとめたりできる。	・提出物(ノート・プリント・課題等) ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
思考・判断・表現	社会的事象について、自分なりの考えをもち、考えたことや選択・判断したことを表現することができる。	・提出物(ノート・プリント・課題等) ・小テスト、テスト、作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・作品・作文
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について関心をもち、進んで調べようとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・提出物(ノート・プリント・課題等)

年間指導計画・評価計画

第4学年 体育

月	単元名	学習内容
一 学 期	体ほぐしの運動	・いろいろな体ほぐしの運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。
	多様な動きをつくる運動	・体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を使った動き、力試しの動きを身に付け、それらを工夫したり、組み合わせたりする。
	マット運動	・自分の力に合った技を身に付け、できる技の繰り返しや、組み合わせ技に挑戦する。
	鉄棒運動	・鉄棒の技に挑戦したり、技を組み合わせたりして楽しむ。
	跳び箱運動	・自分の力に合った「基本の技」を身に付けたり、「発展技」に挑戦したりする。
二 学 期	かけっこ・リレー	・いろいろなかけっこをしたり、きまりを工夫してチーム対抗のリレーをしたりする。
	小型ハードル走	・いろいろなコースで、3歩のリズムで小型ハードルを走り越し、競走する。
	走り高跳び	・短い助走から強く踏み切って跳び、決まりを工夫して跳び比べをしたり、記録に挑戦したりする。
	ボール投げ	・いろいろな場でボールを投げて、ボールを遠くに投げる。
	ゴール型(フラッグフットボール)	・作戦を基に攻め方を工夫して、フラッグフットボールをする。
	ベースボール型(ティーボール)	・ボールを打って得点したり、ボールを取ってアウトにしたりして、ティーボールをする。
	ネット型(キャッチバレー)	・みんなで繋いで、落とすための工夫をして、キャッチバレーをする。
三 学 期	ゴール型(グリッドサッカー)	・パスやシュートをしながら、攻め方を工夫して、グリッドサッカーをする。
	表現・ジャングル探検に出発！	・ジャングル探検のいろいろな場面の特徴を捉えて、表したい感じを踊る。
	リズムダンス	・ロックやサンバのリズムに乗って弾んで踊ったり、動きに変化をつけたり、友達と関わり合って踊ったりする。
一 学 期	変化していく体	・体は、年齢とともに発育し、変化すること、発育には個人差があることを理解できるようにする。 ・体の発育の仕方には個人差があることを、表やグラフなどの資料から読み取り、説明できるようにする。 ・これまでとこれからの、自分たちの体の変化の仕方や個人差について関心をもち、肯定的に捉えることができるようにする。
二 学 期	思春期の体の変化 ①体の外にあらわれる変化	・思春期には体つきの変化や発毛など、体に変化が現れること、それらには男女差、個人差があることを理解できるようにする。 ・思春期に現れる男女の体の変化について、資料を参考にしながら、個人差があることを説明できるようにする。 ・思春期の体の変化に関心をもち、意欲的に調べたり考えたりして、変化することや個人差があることを肯定的に捉えることができるようにする。
		・思春期になると、初経・精通が起こり、異性への関心が芽生えること、これらは個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることを理解できるようにする。 ・思春期の体の変化について学習したことを、自分の体の発達と結び付けて考え、表現することができるようにする。 ・新しい生命を生み出す準備として自身の体に変化することについて受け止め、意欲的に学習活動に取り組むことができるようにする。
		・よりよい発育のためには、適切な運動、調和のとれた食事、休養および睡眠が必要であることを理解できるようにする。 ・よりよい発育のためには、運動、食事、休養・睡眠などにおいて、どのような所に気をつけたらよいのか自らの生活を振り返りながら考え、説明できるようにする。 ・よりよい発育のための運動、食事、休養・睡眠について、意欲的に考え、実行にうつすことができるようにする。
	思春期の体の変化② 体の中にあらわれる変化	
三 学 期	よりよい発育のために	

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	運動の行い方及び体の発育・発達について理解するとともに、基本的な技能を身につけている。	・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・実技
思考・判断・表現	自己の運動や健康の課題を見付け、解決のための方法を工夫しているとともに、考えたことを他者に伝えている。	・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・実技
主体的に学習に取り組む態度	運動に進んで取り組み、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に留意して最後まで努力をして運動しようとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・実技

年間指導計画・評価計画

第4学年 図画工作

月	単元	学習内容
一学期	絵の具でゆめもよう 材料や用具に触れながら思い付いたことを表す 2～6	水彩絵の具でいろいろな表し方を試しながら模様の紙をつくり、形や色などの感じを捉えながら、模様を生かして、表し方を工夫しながら絵に表す。
	光とかげから生まれる形 材料や場所を基にして活動する／材料を基にして	いろいろな材料を組み合わせてできる影の形を試しながら、造形的な活動を思い付き、形や色などの感じを捉えながら、活動を工夫して面白い影の形をつくる。
	立ち上がれ！ねん土 材料や用具に触れながら思い付いたことを表す／粘土で 2～4	板状やひも状にした粘土を立ち上げることから表したいことを見付け、形などの感じを捉えながら、手や用具を工夫して使い立体に表す。
	コロコロガーレ 遊ぶもの・仕組みから思い付いたものをつくる 6～8	ビー玉を転がしながら、表したいことを見付け、形や色などの感じを捉えながら、材料や用具の使い方を工夫して、楽しいコースをつくる。
	まぼろしの花 感じたこと、想像したこと、見たことから表す／想像したことから表す 3～4	誰も見たことも聞いたこともないまぼろしの花を、形や色などの感じを捉えながら、表し方を工夫して絵に表す。
二学期	おもしろアイデアボックス 飾るもの・使えるものをつくる 4～6	段ボールの形や特徴を生かして、生活で使える入れ物を考え、形や色などの感じを捉えながら、材料や用具の使い方を工夫して表す。
	つつんだアート 体全体を動かせながら活動する	いつも使っている場所やものを透明なシートで包み、形や色などの感じを捉えながら、活動を工夫して包んだ場所やものの様子が変わることを楽しむ。
	わすれられないあの時 感じたこと、想像したこと、見たことから表す／生活経験から表す 6～8	生活の中で心に残っていることから表したい様子を思い浮かべ、そのときに感じた気持ちに合う形や色を見付けながら、表し方を工夫して絵に表す。
	つなぐんぐん 体全体を動かせながら活動する	木の枝をつなぎながら造形的な活動を思い付き、形などの感じを捉えながら、つなぎ方や組合せ方を工夫して活動する。
	～わりばしで～ 2～4	割り箸をつなぎながら造形的な活動を思い付き、形などの感じを捉えながら、つなぎ方や組合せ方を工夫して活動する。
	トロトロ、カチコチ・ワールド 感じたこと、想像したこと、見たことから表す／粘土で 4～6	布やいろいろな材料を組み合わせて液体粘土で固め、表したい世界を思い付き、形や色などの感じを捉えながら、材料の組合せ方を工夫して立体に表す。
	大きな物語 感じたこと、想像したこと、見たことから表す 4～6	物語から想像を広げ、思い浮かべた様子や感じに合う形や色を見付け、どのように表すか考え、工夫して楽しく絵に表す。
	ギコギコクリエイター 飾るもの・使えるものをつくる	のこぎりを安全に使い、切ってできた様々な形の木をつないでできる形などを基に、生活で楽しく使えるものを考え、形や色などの感じを捉えながら、材料の組合せ方を工夫して表す。
	光のさしこむ絵 材料や用具に触れながら思い付いたことを表す 3～4	光を通す材料や、並べたり重ねたりする行為の中から、自分の表したいことを見付け、形や色などの感じを捉えながら、表し方を工夫して絵に表す。
三学期	すみですみか 材料や場所を基にして活動する／場所・環境を生かして	学校の中の小さな隅を探して、どのようにつくりかえるのかを考え、形や色の感じを捉えながら、その場所にある材料の使い方や活動を工夫してつくる。
	幸せを運ぶカード 伝え合うものをつくる 4～6	飛び出す仕組みを基に、伝えたいことが楽しく伝わるカードを考え、形や色などの感じを捉えながら、表し方を工夫して表す。
	森のげいじゅつ家 材料や用具に触れながら思い付いたことを表す／様々な材料で 4～6	木の材料を組み合わせながら、つくりたいものを考え、形や色などの感じを捉えながら、表し方を工夫して立体に表す。
	ゴー！ゴー！ドリームカー 遊ぶもの・仕組みから思い付いたものをつくる	ゴムの力で動く仕組みから表したい車を考え、形や色などの感じを捉えながら、材料や用具の使い方を工夫して、楽しく走る車をつくる。
	ほってすって見つけて 版に表す 4～8	版を生かして表したいことを考え、形などの感じを捉えながら、材料や用具の使い方を工夫して、版に表すことを楽しむ。
	からだでかんしょう 自分の作品や身近な美術作品などのよさや面白さ・美しさを感じ取る 1～2	美術作品を見たり体や身近にあるものを使ってまねたりしながら、形や色などの感じを捉え、作品のよさや面白さを味わう。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	今までの経験を活かして用具や材料を適切に扱い、形や色の感じを捉えて表し方を工夫している。	・提出物(ノート・プリント・課題等) ・作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価
思考・判断・表現	自分のイメージをもって表し方を考え、鑑賞しながら自分の見方や感じ方を広げている。	・提出物(ノート・プリント・課題等) ・作品 ・授業中の取り組み状況 ・発言、自己評価、相互評価 ・作品
主体的に学習に取り組む態度	つくりだす喜びを味わい、意欲をもって、表したり、見たりして進んで活動しようとしている。	・授業に取り組む姿勢 ・作品

年間指導計画・評価計画

第4学年 音楽

月	単元	学習内容
一学期	子どもの世界	年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりするための歌唱教材。
	いいこと ありそう	・音の高さに気をつけて、明るい声で歌う。
	♪パパゲーノとパパゲーナの二重唱	・2人の歌声による音楽のおもしろさを感じ取りながらきく。
	歌のにじ	・リコーダーと合わせて、明るい声で歌う。
	いろんな木の実	・拍の流れにのって、歌と打楽器を合わせてえんそうする。
	♪ブラジル	・拍の流れにのって、歌と打楽器を合わせてえんそうする。
	☆言葉でリズムアンサンブル	・くり返しや変化を使って、リズムアンサンブルをつくる。
	◎まきばの朝	*歌詞から情景を思いうかべて、のびやかな声で歌う。
二学期	風のメロディー	・6拍子を感じながら歌う。
	陽気な船長／せいじやの行進	・せんりつのとくちょうにふさわしいふき方でえんそうする。
	ゆかいに歩けば	・せんりつのとくちょうを生かして歌う。
	◎とんび	*せんりつの音の上がり下がりを感じ取って、強さをくふうしながら
	♪白鳥	・せんりつのとくちょうを感じ取りながらきく。
	♪美しきロスマリン	・せんりつのとくちょうを感じ取りながらきく。
	パレード ホッホー	・せんりつが重なり合うおもしろさを感じ取る。
	♪ファランドール	・せんりつが重なり合うおもしろさを感じ取る。
	雨の公園／ハッピー パースデイ トゥ ユー	・サミングをおぼえてリコーダーをふくく。
	◎もみじ	*声が重なり合う美しさを感じて歌う。
	♪メヌエット／クラリネット ポルカ	・フルートとクラリネットのひびきに親しみましょう。
	音のカーニバル	・音の組み合わせを考えて、歌と合わせてえんそうする。
	☆打楽器の音楽	・音のとくちょうを生かして音楽をつくる。
	茶色の小びん	・ゆたかなひびきを味わいながらえんそうする。
	♪ソーラン節／南部牛追い歌	・音楽のとくちょうを感じ取りながら、日本の民謡をきく。
	♪トラジ打令／小さな淡黄色の馬	・音楽のとくちょうを感じ取りながら、日本の民謡をきく。
三学期	こきりこ	・日本の音楽のふんいきを感じ取ってえんそうする。
	☆ミソラドレの音でせんりつづくり	・5つの音で、おはやしのせんりつをつくる。
	◎さくら さくら	*日本語の美しさや日本のせんりつの感じを生かして歌う。
	赤いやねの家	・曲の気分を感じ取ってえんそうする。
	オーラ リー	・曲の気分を感じ取ってえんそうする。
	♪山の魔王の宮殿にて	・音楽が表している様子を思いうかべながらきく。
	♪つるぎのまい	・音楽が表している様子を思いうかべながらきく。
	みかんの花さくおか／せいくらべ／	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。
	みどりのそよ風	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。

評価計画

評価の観点	評価規準	評価方法
知識・技能	曲想と音楽の構造との関わりに気付き、音楽表現を楽しむための技能を身に付けている。	曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解している。
思考・判断・表現	自分の思いや考えをもって表現したり、曲の演奏のよさなどを見いだし、音楽を味わって聴いたりしている。	どのように表すかについて思いや意図をもったり、曲や演奏のよさなどを見いだし、音楽を味わって聴いたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	自ら進んで音楽に関わり、協働して音楽表現したり、鑑賞したりしようとしている。	音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

年間指導計画・評価計画

第4学年 道徳

月	単元	学習内容
一学期	1 世界に一つだけの花	「世界に一つだけの花」の歌詞や、互いのよいところを見つけ合う活動を通して、自分のよいところについて考えさせ、一人一人の個性にふれ、自分の長所を伸ばしていこうとする心情を育てる。
	2 土曜日の学校	地域の人に昔遊びを教えてもらう子供たちの姿を通して、礼儀正しくすることの大切さについて考えさせ、誰に対しても真心をもって接しようとする実践意欲と態度を育てる。
	3 「思いやり」って	骨折した友達に手を貸そうとする「わたし」の姿を通して、思いやりとはどんなものかについて考えさせ、相手の気持ちを察して、進んで親切にしようとする判断力を育てる。
	4 絵はがきと切手	料金不足のはがきを送ってきた友達に対し、そのことを伝えるかどうか悩むひろ子の姿を通して、友達を大切にすることについて考えさせ、友達のことをよく理解し、信頼し、助け合おうとする判断力を育てる。
	5 言わなきや	正しいと思うことを友達に言えないでいる「わたし」の姿を通して、正しいと思うことを行うために大切なことについて考えさせ、正しいと思ったことは、周りに流されことなく自信をもって行おうとする判断力を育てる。
	6 目覚まし時計	自分で起きると決めたのに、挫折してしまうリカの姿を通して、自分でできることを自分でするために大切なことについて考えさせ、他の人から言われるのではなく、自分で考えて節度のある生活をしようとする実践意欲と態度を育てる。
	7 生きているしるし	自分が生まれたときのことを父親から聞いたちえ子が考えを巡らせる姿を通して、一人一人の命の大切さについて考えさせ、多くの人々に支えられている尊い命を大切にしていこうとする心情を育てる。
	8 ひとりぼっちのＹちゃん	仲間外れにってしまった友達の思いを知り、自分の行動を反省する「わたし」の姿を通して、誰に対しても公平に接することの大切さについて考えさせ、誰に対しても分け隔てなく接しようとする心情を育てる。
	9 学級会での出来事	互いの意見を尊重し合えないまま、お楽しみ集会の内容を決めてしまう学級会の様子を通して、みんなで話し合いをするときに、どんなことを心がければよいかについて考えさせ、自分とは異なる意見にも耳を傾け、よりよい関係性を築こうとする実践意欲と態度を育てる。
	10 みんな、待っているよ	学校や院内学級のみんなから手紙を受け取り、手術に臨もうとする「わたし」の姿を通して、クラスのよさについて考えさせ、学校や学級で自分を励ましてくれる人々と自分であって節度のある生活をしていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	11 いのちをつなぐ岬	ウミガメの産卵の写真や保護に取り組む人々の思いを通して、自然を守るために大切な心について考えさせ、自然やそこに生きる動植物を大切にし、環境保全について関心をもとうとする心情を育てる。
二学期	12 このままにしていたら	遊びに行った川にビニール袋を放置してしまった「ぼく」の姿を通して、公共の場所で気をつけることについて考えさせ、社会のきまりの意義を理解したうえで、それらを守ろうとする実践意欲と態度を育てる。
	13 わたしたちの校歌	埼玉県熊谷市の小学校で行われた校歌の調べ学習の実例を通して、自分たちの校歌に込められた願いや思いについて考えさせ、よりよい学校を、みんなで協力してつくっていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	14 「正直」五十円分	おつりを多くもらったけしが、正直におつりを返しに行く姿を通して、自分から正直に行動するために大切なことについて考えさせ、自分自身を偽ることなく、明るく心で伸び伸びと過ごそうとする心情を育てる。
	15 泣いた赤おに	青おにの自分に対する思いに気づいた赤おにの姿を通して、友達を大切にすることについて考えさせ、友達とよりよい関係を築き、互いに理解し、信頼し合おうとする心情を育てる。
	16 スーパーモンスターカード	万引きをしようとしている友達を止める「ぼく」の姿を通して、正しいことを行うために大切なことについて考えさせ、正しいと判断したときには自信をもって行い、正しくないことをしている人を止めるなどしようとする判断力を育てる。
	17 つまらなかった	何気ない言葉を巡って擦れ違う信二とさとしの姿を通して、互いにわかり合うために大切なことについて考えさせ、相手の思いを理解するとともに、相手からの理解を得られるように伝えようとする実践意欲と態度を育てる。
	18 ぼくたちのバラ花だん	戦後、広島県福山市で、平和や復興を願う活動があったことを知ったけいとたまさの姿を通して、地域の先人たちの思いについて考えさせ、地域の礎を築いた人たちに感謝の思いをもって接しようとする心情を育てる。
	19 生き物と機械	生き物と機械の違いについて考えることを通して、命とはどのようなものかについて考えさせ、唯一無二の生命を大切にしようとする心情を育てる。
	20 弟のふろ入れ	弟のふろ入れという家庭での仕事に取り組む「ぼく」の姿を通して、家族のためにできることについて考えさせ、家族で協力し合って楽しい家庭をつくらうとする実践意欲と態度を育てる。
	21 ちょっと待ってよ	クラスの異性やけがをしている友達に、公平に接することができない京一を見た正広の思いを通して、誰に対しても分け隔てなく行動するために大切なことについて考えさせ、自分の好みを優先せず、誰に対しても公正、公平に接しようとする実践意欲と態度を育てる。
	22 思いやりのかたち	視覚障害者の女性に手を貸す「わたし」や、点字ブロックを考案した三宅さんの姿を通して、人を思いやることについて考えさせ、相手のことを自分のこととして想像し、親切な行為を進んで行おうとする実践意欲と態度を育てる。
	23 雨のバスでいりゆう所で	並んでいた人たちを抜かしてバスに乗ろうとしたよし子が自分のしたことを振り返る姿を通して、みんなが気持ちよく過ごすために大切なことについて考えさせ、約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ろうとする実践意欲と態度を育てる。
	24 琵琶湖のごみ拾い	琵琶湖のごみ拾いをしているおじいさんの話を聞き、自分もごみ拾いをするようになったすみ太の姿を通して、気持ちよく働くために大切なことについて考えさせ、みんなと働くことに喜びを感じ、進んで働くようとする実践意欲と態度を育てる。
	25 祭りだいこ	地域の祭りで初めて太鼓をたたくことになった良子の姿や思いを通して、地域の文化を大切にすることについて考えさせ、それらを尊重し積極的に関わろうとする実践意欲と態度を育てる。
三学期	26 わたしの大切なもの	世界の子供たちの「大切なもの」を紹介した写真や文を通して、世界の人々や文化について考えさせ、他国の人々や文化に親しみ、自分の国の文化との関係に関心をもとうとする心情を育てる。
	27 より遠くへ——谷 真海	パラリンピックに出場した真海さんの生き方を通して、夢や目標をもつことの大切さについて考えさせ、目標に向かって諦めずに粘り強くやり抜く強い意志をもとうとする心情を育てる。
	28 花さき山	優しいことを一つすること一つの花が咲くという花さき山を巡る物語を通して、美しい心について考えさせ、美しさを感じ取る心を大切にしようとする心情を育てる。
	29 梨の実——アンリ＝ファール	隣の家の梨の実を取ってしまったアンリの姿を通して、間違いを素直に改めることの大切さについて考えさせ、周囲に流されず、自分自身に正直に、明るく生活しようとする実践意欲と態度を育てる。
	30 みんなちがって、みんないい	金子みすゞさんの詩「わたしと小鳥とすずと」と、その詩を読んで感じた、違いを認め合うことの大切さを書いた児童作品を通して、自分を輝かせることについて考えさせ、自分を多面的・多角的に捉え、自分の個性を伸ばしていこうとする実践意欲と態度を育てる。
	31 「まあ、いいか。」	行き先を告げずに遠くへ遊びに行ったり、遅くまで遊んでしまったりして後悔するよしきの姿を通して、節度のある行動を取ることにについて考えさせ、身の回りの安全に気をつけて、よく考えて行動しようという判断力を育てる。
	32 おじいちゃんのごらく ごらく	祖父との思い出を大切にしている「ぼく」の姿を通して、生命の尊さについて考えさせ、死というものを理解するとともに、命を大切にしていこうとする心情を育てる。
	33 ブラッドレーのせい求書	自分がした手伝いに対する請求書を母に渡したブラッドレーと、ブラッドレーに1ドルも請求をしなかった母の姿を通して、家族の一員としての自分について考えさせ、敬愛の念をもち、家族のために積極的に関わろうとする実践意欲と態度を育てる。
	34 神戸のふっこうは、ぼくらの手で	阪神・淡路大震災のとき、避難所で自分たちのできることに取り組んだ「ぼく」たちの行動や思いを通して、みんなのために働くことの大切さについて考えさせ、集団の一員として自分ができることを見つけ、実行していこうとする心情を育てる。
	35 朝がくると	まど・みちおさんの詩や働く人々の写真を通して、生活を支えてくれる人々に伝えたいことについて考えさせ、その方たちに尊敬と感謝の気持ちをもとうとする心情を育てる。

年間指導計画・評価計画

第4学年 外国語活動

学期	単元名	学習内容
一学期	Hello, world!	・世界のどの国の挨拶かを当てる。
	世界の色々なことばであいさつをしよう	・友達に好きな食べ物や動物などを伝えたりして，挨拶をする。
	Let's play cards.	・動作を交えて，自分が好きな遊びについて尋ねたり誘ったり，またそれに応じたり断ったりする。
	好きな遊びを伝えよう	・天気に合わせて行う遊びを決めたり提案したりする。
二学期	I like Monday.	・曜日を尋ねたり答えたりし、自分の好きな曜日を伝え合う。
	好きな曜日は何かな	
	What time is it?	・イラストなどを見せながら，一日の生活の中の自分が気に入っている時刻を伝え合う。
	今、何時？	
	Do you have a pen? おすすめの道具箱をつくろう	・文房具などを持っているかどうかを尋ねたり答えたりする。 ・相手に勧めたい道具箱を考えて紹介する。
	alphabet	・大文字に合う小文字を線で結ぶ。
三学期	アルファベットで文字遊びをしよう	・アルファベットの文字をヒントに，単語当てクイズをする。
	What do you want?	・相手に勧めたいオリジナルメニューを作るために，買い物の場面で必要な食材についてやり取りをする。
	ほしい物は何かな	・作ったオリジナルメニューを見せながら紹介する。
	This is my favorite place.	・自分が気に入っている校内の場所についてイラストや写真を見せながら自分の考えなどを伝えたり，その場所まで案内したりする。
三学期	お気に入りの場所を紹介しよう	
	This is my day.	・絵本の読み聞かせの中で聞いた，簡単な語句や基本的表現が表す内容をイラストや写真などと結び付ける。
	私の一日	・話の筋に合わせて，気に入ったページをグループで発表する。